

日能研	5年							
	算数							
学習内容	7月の学習内容 37 割合と線分図② 相当算 38 売買と割合 夏期講習 数の性質 平面図形 割合 文章題							
家庭学習ポイント	夏期講習前まで、割合の学習が続きます。37回は相当算、割合の文章題の中では最も「定番」といえるものです。線分図を書き、使ったものの「残りの割合」などを考えていきます。学習項目名にもなっている通り、何よりも「線分図を書いて、目で見ても確かめながら理解する」ことが差重要、最優先です。正しく線分図を書くことで「何に対する割合なのか」を見失いにくく、間違いのない理解と作業ができるようになります。38回の「売買」についても同様ですが、この項目については耳慣れない「仕入れ値（原価）」「定価」「売り値」「利益（儲け）」について理科することが前提となります。「商売をしてお金を儲ける」とはどういうことなのかが実感できていないお子さんは多く、大人が「そんなこと」と思うようなことから噛み砕いて説明する必要があります。夏期講習では、これまで学習した全内容の総復習になります。日程は18日間と、4年生時に比べると3倍位のボリュームです。あらかじめ「空き日にすること」などを考えておく必要がありますね。							
課題の把握と解決策	チェック1	線分図をフリーハンドで書くことができますか？						チェック
	解決策	定規を使わず素早く書けるように習熟していきましょう						□
	チェック2	線分図の中に入れる割合の数字を「まる」や「四角」でくるんでいますか？						チェック
	解決策	個数などの単位がつく数字と割合の数字を区別することが大切です						□
	チェック3	「残りに対する割合」「全体に対する割合」を区別できていますか？						チェック
	解決策	上記「まる」や「四角」でくるんで区別しましょう						□
	チェック4	売買の仕組みを理解できていますか？						チェック
	解決策	「100円で買ってきたものを100円で売っても儲からないから利益をつける」と噛み砕きましょう						□
	チェック5	夏休みの空き時間にする復習について、計画を立て始めていますか？						チェック
	解決策	2月～7月までの公開、育成テストの結果をあらためて見返し、内容を検討しましょう						□
日能研	5年							
	国語							
学習内容	7月の学習内容 37 複雑な心情 38 多角的に見た性格 夏期講習 説明文 物語 随筆 論説文 詩歌 ※語句を毎回学習							
家庭学習ポイント	第37回、38回は、いずれも物語文がテーマの授業です。文種は物語分となります。5年生の読解は、単に文章を読んで内容、ストーリーが分かるというレベルではなく、一歩掘り下げて登場人物の複雑な心情、つまり喜怒哀楽といったレベルではなく、後ろめたさや罪悪感といった中学受験でよく扱われる心情を読み取ります。また38回では、登場人物の性格を、文章表現から多面的に読み取る学習をします。4年生の国語のように「なんとなく読んで内容がわかれば答えられる」という問題は少なくなり、選択問題でも微妙な選択肢が多く、物語文であっても論理的に考えないと正解できない問題ばかりになっています。文章の描写から「このような行動をする登場人物には、その理由が必ずある」という因果関係をもとに考える習慣をつける必要があります。一方で知識事項である四字熟語やことわざ、慣用句も入試で頻出です。コツコツと覚える努力を続けましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	因果関係を意識して物語文を読んでいますか？						チェック
	解決策	登場人物の言動には必ず根拠（＝考えや性格など）があります						□
	チェック2	登場人物の心情が「何に対するものか」意識できていますか？						チェック
	解決策	描かれる心情には必ずその「対象」となることが存在します						□
	チェック3	四字熟語やことわざ、慣用句をコツコツと覚える努力を続けていますか？						チェック
	解決策	本科・栄冠だけではやや不足気味です。市販テキストなどの併用も検討しましょう						□
	チェック4	選択問題で最後に残った「二択」で間違っていないですか？						チェック
	解決策	必ず「本文でどのように表現されているか」にもどって検討しましょう						□
	チェック5	夏休みの空き時間にする復習について、計画を立て始めていますか？						チェック
	解決策	日程に比較的余裕がある日能研だからこそ、しっかり準備しておきたいですね						□

日能研	5年							
	理科							
学習内容	7月の学習内容 28 ばね 29 てこ 夏期講習 植物 動物 生物どうしのつながり 人体 太陽／星／月 気体 水溶液 物体の運動／ばね／てこ							
家庭学習ポイント	28回から力学の学習に入ります。28回は「ばねののびとそのきまり」です。ばねには「力をかけないときの長さ（自然長）」があり、力を加えるとその自然長に「のび」が加わることをまず理解することがポイントです。計算自体は難しくないのですが、ミスを生発するお子さんに共通するのは「自然長、のびを書き出して整理せずに解き始める」ということです。問題に示されたばねの自然長とのびの長さを（メモ程度でいいので）書き出し、解き進める中でそのメモに戻って確認する、これだけでミスは大幅に減ります。逆にミスをするお子さんの原因は「いちいち問題の本文に戻って確認するので、思考が拡散しミスが出る」ということです。「すぐに解き始めたい」という誘惑に負けず、まず整理をして解き始めることが大切です（算数にも共通する「技術」です）。29回は「てことつり合い」です。こちらでも計算单元ですが「かかる力の大きさ×支点までの長さ」を計算する作業が中心です。すべき作業は決まっているので、間違ふ大きな原因の1つは「支点の位置があやふや（にしか認識できていない）」ということです。自分で支点を決める問題は特に、どこに支点を置いて考えているのか、図にしっかりと書き込んでとき進めることが重要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	ばねの問題では必ず「自然長とのび」を書き出してから考えていますか？						チェック
	解決策	この「ひと手間」を惜しむとミスが増えてきます						□
	チェック2	ばねののびは「比例計算」なので「□倍」を意識して解いていますか？						チェック
	解決策	「10g・・・2cm」⇒「30g・・・●cm」といった書き出しで比例計算を						□
	チェック3	てこの問題では支点の位置を意識して解くことができますか？						チェック
	解決策	「かかる力の大きさ×支点までの長さ」で「支点までの長さが間違っている」が最も多いミスです						□
	チェック4	てこの問題では「左右」「上下」のつり合いを意識できていますか？						チェック
	解決策	棒がつり合っているとき、左右だけでなく「上下のつり合い」も意識しましょう						□
	チェック5	夏期講習が始まるまでに2月～7月のテストを振り返っていますか？						チェック
	解決策	総復習である夏期講習で特に力を入れる单元」をピックアップしましょう						□
日能研	5年							
	社会							
学習内容	7月の学習内容 28 日本の重化学工業 29 工業生産をめぐる問題点 夏期講習 地方別地理 九州・中国・四国・近畿・中部・関東・東北の自然／産業 地形図							
家庭学習ポイント	第28回、29回は日本の第二次産業（工業）に関する学習が続きます。「せんい工業・製紙パルプ工業」から始まり、「金属工業・自動車工業」「化学工業」を学びます。まずは化学工業や機械工業、金属工業が具体的に何を生産する工業なのかを理解することが大切です。化学工業＝おもに石油化学工業、機械工業＝おもに自動車、造船、IC、金属工業＝おもに製鉄ですね。工業地帯・地域の工業別生産額の割合のグラフの見分けは頻出です。それぞれの工業地帯・地域の特徴（京葉＝化学が30～40％台、中京＝機械60％超、東海＝機械50％超、阪神＝金属20％超で機械30％超など）を理解した上で、見分けるポイントを明確にしておく必要があります。夏期講習では地方別地理の総復習となりますので、夏休みまでに現状の「苦手ポイント」などがあればリストアップしておくことが重要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	主な工業地域の場所を日本地図上で理解できていますか？						チェック
	解決策	名前と場所が一致する前提として、47都道府県の位置は大丈夫でしょうか						□
	チェック2	おもな重化学工業の内容について説明できますか？						チェック
	解決策	重化学工業なら金属工業＝製鉄、機械工業＝自動車、造船、IC、化学工業＝石油化学）ですね						□
	チェック3	おもな軽工業の内容について説明できますか？						チェック
	解決策	窯業、セメント、食料品、繊維などですね						□
	チェック4	主な工業地域の特徴（内訳）について説明できますか？						チェック
	解決策	特に割合が多い分野を中心に特徴をとらえましょう						□
	チェック5	夏期講習が始まるまでに2月～7月のテストを振り返っていますか？						チェック
	解決策	総復習である夏期講習で特に力を入れる单元」をピックアップしましょう						□